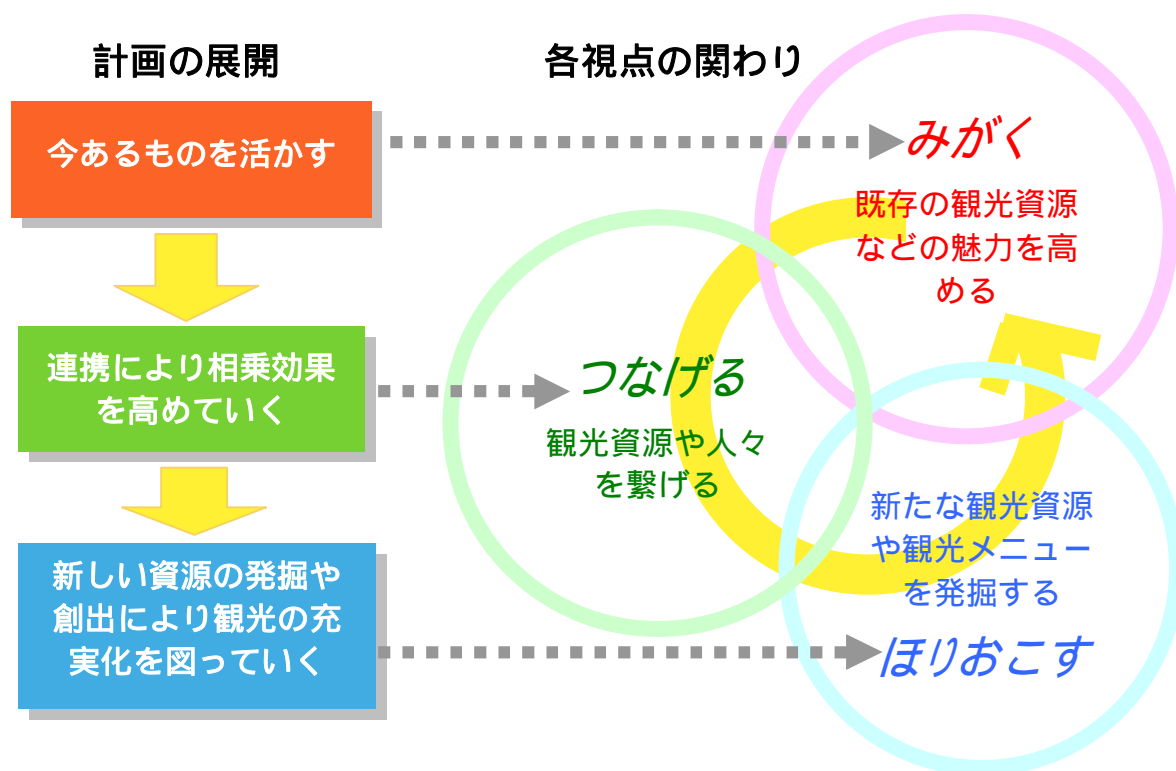


3 . 基本方針

(1) 計画の視点

基本方針における重点施策は、以下の3つの視点に基づいて展開します。

- みがく** …… 既にある観光資源やサービスなどをみがき魅力を高める
- つなげる** …… 観光資源どうしや携わる人々・組織などを結びつける
- ほりおこす** …… 新たな観光メニューや地域価値を発掘する



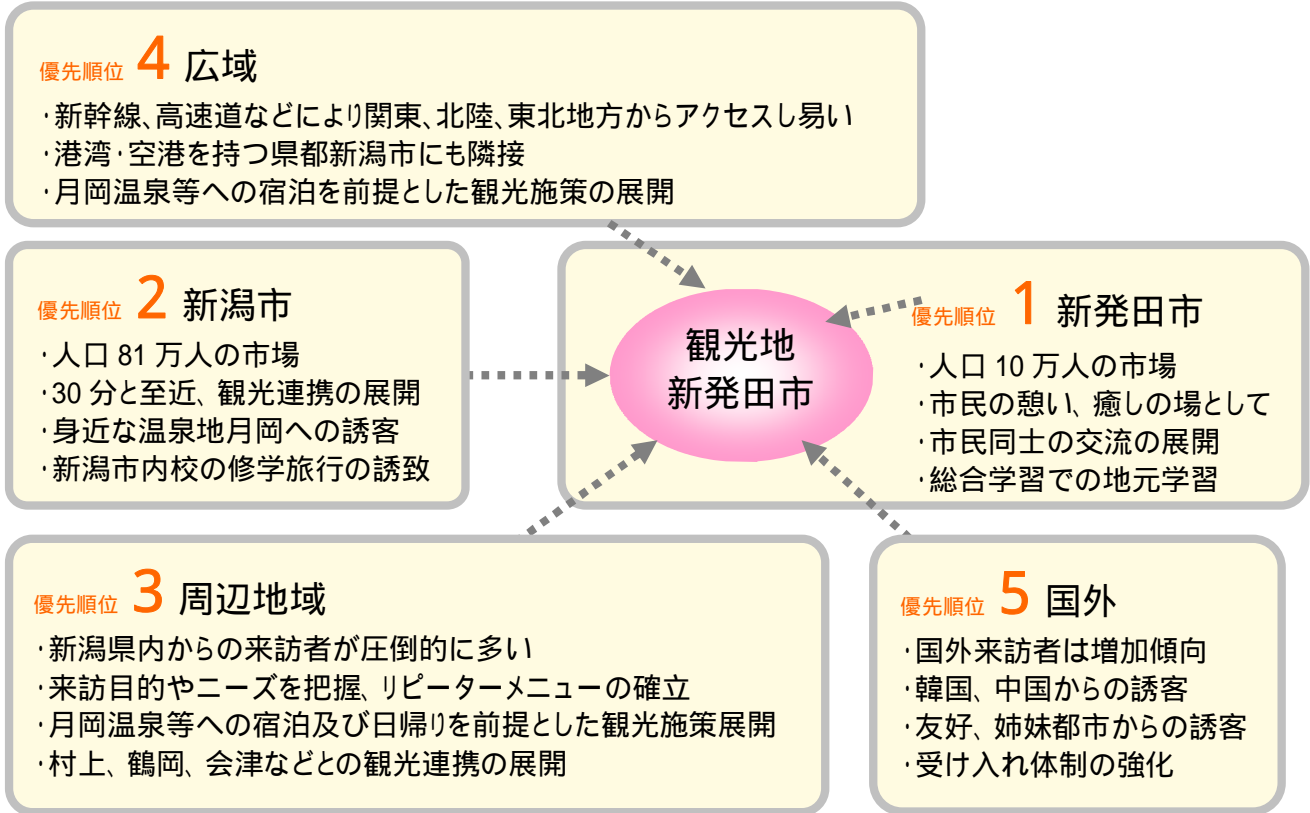
それぞれの視点の具体的な方向

みがく	つなげる	ほりおこす
<ul style="list-style-type: none"> ・ 城下町の風情 ・ 月岡温泉の風情 ・ 既存の観光資源 ・ 美しい地域景観 ・ 受け入れサービス ・ 市民の観光に対する意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源どうしの連携 ・ 農業、漁業の連携 ・ 地域産業の連関 ・ 来訪者と市民の交流 ・ 中心市街地と観光の連携 ・ 地域組織間のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農村や漁村の価値 ・ 新たな地域の資源、宝物 ・ 地場特産や郷土料理 ・ 新しい顧客やリピーター ・ 新規の観光メニュー ・ 地域リーダー

(2) 集客のターゲット(対象)

新発田市観光の対象地域(ターゲット)

市民の意識・満足度醸成も念頭に置きつつ、「観光地新発田市」への誘客を展開します。



来訪者の階層と対応方向

女性	・流行の先導役 ・美しさ、癒し、ヘルシー、こだわり等テーマにしたサービス提供				温泉	城下町	食
ファミリー	・根強い需要、2世代から3世代での同行も多い ・各年齢層で楽しめる環境づくり	農村	山	海	温泉	城下町	食
カップル	・ドライブ旅行など気軽に出かけるケースが多い ・イベントなど若い層が楽しめる観光メニューづくり		山	海	温泉	城下町	食
グループ	・団体客に替わり増加傾向 ・グループの志向性にあった観光メニューづくり	農村	山	海	温泉	城下町	食
個人	・団塊世代等、趣味や時間を楽しむ人が多い ・自由に気兼ねなく過ごせる環境、多様なサービス提供	農村	山	海	温泉	城下町	食
修学旅行	・客数確保面では重要、親と一緒に再来のケースもある ・歴史文化、自然など資源を活かした体験メニューの提供	農村	山	海		城下町	食
企業・団体	・団体客は減少傾向、営業的には重要な要素 ・継続的な誘致の実施				温泉	城下町	食

(3) 基本方針と施策展開の方向

新発田市の特性を最大限に活かしていくことを基本としながら、これからの観光振興に向けた施策の柱として、以下の5つの重点施策を設定します。

城下町を極める

旧市街地の風情と活力の創造

「城下町新発田の文化や^{たたず}まい」は、新発田市の観光発展のカギとなる貴重な資源です。観光価値を高めるため、城下町の風情を最大限に引き出し、他の観光資源との連携を深めるとともに、まちの人々が誇りを持って訪問者に対応する意識の醸成を図ります。

温泉を活かす

多様な温泉資源価値の向上

全国的に広く知られる月岡温泉をはじめ、市内には9ヶ所の温泉があり、これらは観光入込数の約4割を占める重要な観光資源となっています。各温泉の特色を活かし、温泉相互や他の観光資源との関連づけることで魅力を一層高めます。

食を活かす

和菓子、地場産農産物等の活用

蒲原平野で生産された米、ネギ、アスパラ、果物、肉、地酒、城下町に育まれた和菓子文化など、食に関わる資源がたくさんあります。また、全国雑煮合戦など、市民による食をテーマとした取り組みも芽生えつつあります。観光振興の重要分野として、地場食材や加工食品の企画・販売促進など、地域食材を活かした観光振興を展開します。

山から海までを活かす

観光資源どうしの連携

新発田市は、飯豊山系の山並み、飯豊山系に端を発する加治川によって造られた溪谷と蒲原平野、加治川が流れ注ぐ日本海に至るまで、多様な自然を擁しており、そこに古代から現代に至るまでの文化に花を咲かせてきました。これらの多様な自然と文化を一体とした観光メニューを来訪者に提供します。

力強いしくみをつくる

実施体制と発信のしくみづくり

観光は「居住者が地域の良さに気づき」、「来訪者にこれを紹介し、もてなす」行為であり、地域活力を支える産業であります。市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たし、一体となった取り組みを行うことが大切です。このため市民意識向上、個店の創意を活かした連携、観光組織の強化連携、情報発信充実、関連産業との連携などを進めます。

城下町を極める

みがく

- 意識** 市民や店の人によるもてなしの向上
- ・ 400年の歴史を誇る城下町文化の保全継承に対する意識の醸成
 - ・ 観光に対する認識ともてなしの気持ちの醸成活動
 - ・ 観光ボランティアなどの人材育成
 - ・ 城下町文化に関する勉強会開催や資格制度の制定
- 情報** まちにゆかりのある人物の紹介
- ・ 新発田市ゆかりの歴史的人物の紹介
(溝口秀勝、堀部安兵衛、大倉喜八郎、落谷虹児、佐藤哲三等)
- 城下町体験メニューの充実
- ・ 城下町の歴史探訪ツアー(台輪、職人技、アート、寺、街並みなど)
 - ・ 伝統行事や祭りへの参加体験ツアー
- 城下町の観光資源紹介情報の充実
- ・ ガイドブック、ガイドマップ
 - ・ インターネット
- 環境** 観光環境の整備
- ・ 案内標識や快適な歩行空間などまち歩き環境づくり
 - ・ 人力車など城下町らしさを感じさせる交通手段
 - ・ 中心市街地への駐車場案内システム
- 歴史的街並みと水辺の保全・再生
- ・ 寺町や町家景観の保全と効果的な活用
 - ・ 新発田川の暮らしと一体となった水辺空間の再生
 - ・ 商店街の街並み景観の再生・保存(店舗ファサード*、看板、雁木など)

つなげる

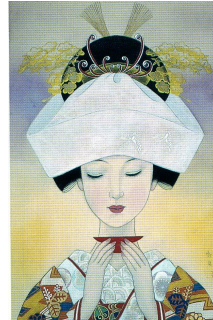
- 中心市街地の商店街との連携
- ・ 商店街紹介情報の整備(城下町イメージで統一した案内地図等)
 - ・ 商店主等による観光ガイド学習
 - ・ 空き店舗の活用
- 地域文化・芸術との連携
- ・ 地域の歴史文化的資産の展示、説明
 - ・ 地域の芸術・アートの紹介、実技体験
 - ・ 各方面で活躍する当市出身の文化人・芸術家の紹介
- 月岡温泉との連携
- ・ 来訪者のニーズに対応した観光交通サービスの整備
 - ・ 宿泊と城下町体験をセットにした観光メニューの開発

ほりおこす

- 観光商業核施設の充実
- ・ 伝統的な建築様式の店舗や蔵、空家等の活用
- 病院跡地の利用
- ・ 新発田城・城址公園を含めた有効活用方法の検討
 - ・ 歴史的、文化的背景の検証

*ファサード...建物の正面

旧市街地の風情と活力の創造



城下町の風情を醸し出す



温泉資源の活用

- ・各地域、施設における活用の方向性の検討

月岡温泉における戦略的集客プログラムの検討

- ・社会環境と観光ニーズの変化に対応した集客ターゲットの明確化
- ・顧客ニーズをつかんだ宿泊メニューの開発（設備・料理・サービス等）
- ・宿泊満足度調査（宿泊モニター制度、エージェント*ヒアリングなど）
- ・月岡を取り巻く周辺観光資源の魅力アップ（市島邸、カリオンパーク、剣龍峡等）
- ・集約のための戦略的な宣伝PR手法の検討・実践

月岡温泉街の風情の充実

- ・「もっと美しく」をテーマにした“おしゃれ”な温泉街風情形成
- ・歩いて楽しめるにぎわいある環境づくり
（ハード...ファサード*、サイン*、舗装、植樹、たまり空間、足湯等）
（ソフト...対話、もてなし、土産品、体験観光等）

各地域の日帰り温泉施設の価値化付けと変革

- ・温泉の効能や周辺環境を活かした独自の付加価値づけ
（健康食、リフレッシュ、メタボリック対策・・・）

月岡温泉街の各事業者の連携

- ・エリア連携プログラム「めぐり」（1軒1品お宝、酒・菓子・食材等）
- ・温泉客向けこだわり企画の提供
（理美容院での足つぼ・エステ、和菓子づくり体験、お休み処）

月岡温泉と周辺観光資源との連携

- ・周辺観光資源の魅力の積極的PRと最新情報の提供（市島邸、カリオンパーク、剣龍峡等）
- ・月岡温泉を中心とした周辺の「観光交通ルートマップ」の作成
- ・宿泊と城下町や収穫体験等の観光セットメニューの開発
- ・中心市街地とを結ぶ観光交通サービスの整備（シャトルバス・タクシー）
- ・月岡温泉への分りやすい魅力ある景観に配慮した案内標識整備

地域文化・芸術との連携

- ・伝承文化及びアート作品展示・体験（刀剣、ガラス細工、など）

温泉資源の新たな活用に向けて

- ・温泉療養、運動、食事、環境のプログラム化（健康づくり大学等）
- ・温泉資源の活用（足湯、飲泉、美容分野）

その他地域の日帰り温泉施設の活用

- ・周辺観光（海・山・スキー等）と連携した日帰りメニューの商品化
- ・各施設間のテーマ性を持った連携
（例：疾病予防、地元食材の活用＜野菜、フルーツ等＞、アート作品等展示）

月岡温泉における新たなイベント等の展開

- ・温泉街全体の四季折々の祭りやイベント開催等
- ・温泉療法等指導者の育成講座の実施
- ・映画・音楽・演劇などの文化芸術を活用した事業の実施

月岡温泉における外国人旅行者の掘り起こし

- ・富裕層が拡大するアジア諸国からの観光客獲得戦略の検討

* エージェント...観光案内業者

* ファサード...建物の正面

* サイン...看板、道標、標識

多様な温泉資源価値の向上



温泉資源の活用

来訪者等のニーズ

観光 としての利用

宿泊滞在型観光
長期滞在, 団塊の世代

日帰り観光
手軽な料金, 家族連れ

健康増進 としての利用

温泉療養
大学・医療機関との連携
健康づくり大学

産業 としての利用

地熱の活用
地域産品の開発

福祉 としての利用

入浴支援
デイサービス
高齢者の交流の場

月岡温泉

紫雲の郷
貝屋温泉

美人の泉
城山温泉
天神の湯
二王子温泉

あやめの湯

ほうづきの里

茶色は市の施設

食

地産地消
スローフード
ヘルシーメニュー
こだわり料理
郷土料理
安全、安心

癒

くつろぎ、癒し
さらに美しく・・・
満足のいくサービス
温泉療法、リハビリ
足つば、エステ
高齢者の生きがい

育

地域文化
アート、芸術
健康づくり
温泉療法指導者育成
地域産業、特産品



菓子文化の振興

- ・ 伝統ある新発田の和菓子のPR
- ・ 各種菓子の創作、地域特産品を使った和菓子、新発田ブランドの開発・普及

地域の食材や特産品の普及

- ・ ブランド確立とそのPR（米、野菜、果物、肉、魚介、酒、郷土料理）
- ・ 地消地産の推進（飲食店、宿泊施設等での活用推進）
- ・ 生産者の顔のみえる安全、安心な食材提供、トレーサビリティ*制度の充実

商店街における地元メニューの普及

- ・ 新発田菓子のセットメニューの提供
- ・ 地場食材を使った創作メニューの普及、郷土料理の積極的なメニュー化

食のイベントの充実

- ・ 全国雑煮合戦の継続的発展
- ・ 食をテーマとしたイベントの開催

菓子と城下町文化

- ・ 個店の雰囲気づくり、シンボル景観としての街並みづくり
- ・ 菓子の味と伝統技術の継承、後継者育成
- ・ 創作菓子コンクール

地域文化・芸術との連携

- ・ アート作家とのコラボレーション*による商品の開発
- ・ 食イベントとまちかどギャラリー等の連携実施

農水産業・食品加工業と飲食関連施設との連携

- ・ 宿泊施設や飲食施設と農水産品生産者との委託生産システムの構築

地域特産品の販路拡大

- ・ 月岡温泉や市内観光施設における特産品や加工品販売（例：日帰り温泉施設等）
- ・ 和菓子など消費期限付きの商品を効果的に販売できる新たな流通システム検討
- ・ 首都圏、交流都市等における“新発田特産品・物産展”開催
- ・ 新たな特産品制度の確立

観光客との連携

- ・ 特産品取扱店の明記と農産物直販店の設置
- ・ 海産物など日本海とれたて海鮮料理などの地域特化した商品開発
- ・ “食の駅”の整備（食のまちづくり・地消地産推進拠点、情報発信、商品開発研究機能など）

県立病院跡地の利活用

- ・ 上記の内容を踏まえた計画案協議

新メニュー開発

- ・ 地場食材を活かしたレシピ開発、研究（料理コンテストなど）
- ・ 伝統的料理、習慣、風習などの研究・活用

食のまちづくり推進体制の確立

- ・ 生産者、JA、観光団体、NPO、食品関連事業者等の連携組織の確立
- ・ 新食材の開発、指導・援助、消費者のニーズ調査

付加価値付けとPR・キャンペーン等

- ・ 有機肥料等の活用による成分・効能等付加価値付け
- ・ 市内外におけるPR、キャンペーン活動の実施

* トレーサビリティ...製品や農産物等の流通経路を生産段階から最終消費段階あるいは廃棄段階まで追跡が可能な状態

* コラボレーション...色々な分野を組合わせた活動

和菓子、地場産農産物等の活用



田園風景



名物料理



地域ブランドづくり

- ・ブランドの確立
(米、野菜、果物、肉、魚介、酒、郷土料理)
- ・安心安全な食材提供
- ・委託販売システムの構築
- ・食育の推進

地消地産の推進

- ・飲食、宿泊施設
- ・既存観光施設での物産、農産物販
- ・推進体制の確立

独自メニュー定着・開発

- ・創作メニュー
- ・料理コンテスト、レシピづくり
- ・こだわり郷土料理
- ・新食材の開発、指導・援助
- ・コラボレーション商品

情報の発信・収集

- ・“食の駅”の整備
- ・首都圏、交流都市等での物産展の開催
- ・キャンペーン活動

食関連イベントの拡充

- ・全国雑煮合戦の継続、発展
- ・食をテーマとした新規事業
- ・既存事業との連携



酒づくり



伝統和菓子

山から海までを活かす

みがく

海浜の活用促進

- ・藤塚浜や紫雲寺記念公園の利用促進（白砂青松風景活用など）
- ・多様な海洋レクリエーションの普及（マリン・ビーチスポーツなど）
- ・松塚漁港の観光的な活用（地元水揚げ魚介類の直販、漁港食堂など）

山岳の活用促進

- ・二王子岳、檜形山脈等の登山道の整備充実とPR、歴史的価値の探求とPR
- ・滝谷森林公園、内の倉湖等森林・レクリエーション施設充実とPR
- ・ウインタースポーツでの利用（スキー、トレッキング等）

里山の活用促進

- ・五十公野山、真木山、本田山等のハイキングコース整備充実とPR

ゴルフ場の活用促進

- ・温泉資源との連携（国内・海外）

農村の活用促進

- ・田園風景の保全と整備（はさ木） 景観条例との連携（屋外広告物規制等）
- ・観光農園や農業体験プログラムの開発と普及（米倉「有機の里」等の活用）

河川の活用促進

- ・加治川の桜堤や遊歩道の整備、PRなど
- ・荒川川、小烏川等の活用

受け入れる側のもてなしの心の醸成

- ・各地域の観光資源の活用、保全（詳細については資料編に記載）
- ・地域の宝ものづくり活動支援事業の活用（勉強会の実施、活動費用補助等）

つなげる

観光拠点間の連絡

- ・交通手段（レンタカー・レンタサイクル）や駐車場の整備
- ・パークアンドライドの実施
- ・主要観光拠点間の円滑なアクセスのための道路標識設置
- ・地域景観の保全及び良好な景観形成（山、川、田園等）
- ・サイクリングロードや遊歩道などの有効活用

農村と都市の交流機会の創出（グリーンツーリズム*）

- ・観光農業、農業体験、農家レストラン、農家民宿

漁村と都市の交流機会の創出（ブルーツーリズム*）

- ・観光漁業、漁業体験、直売所、地元魚介類を使った料理店、小型船舶の活用

ほりおこす

各地域における観光資源の再発掘

- ・地域の歴史、人物、珍しい植物、祭りや行事、食習慣、風習や民話など
- ・農村、漁村、山村の生活体験

四季を通じた観光情報発信システムの構築

- ・各地域の花だよりと開花情報等の提供
- ・祭りや行事カレンダーなどの作成

新たな観光メニューの開発

- ・歴史、自然、農村体験等観光メニューの開発（花・食・フィルムツーリズム*）

地域ごとの旅先案内人の育成

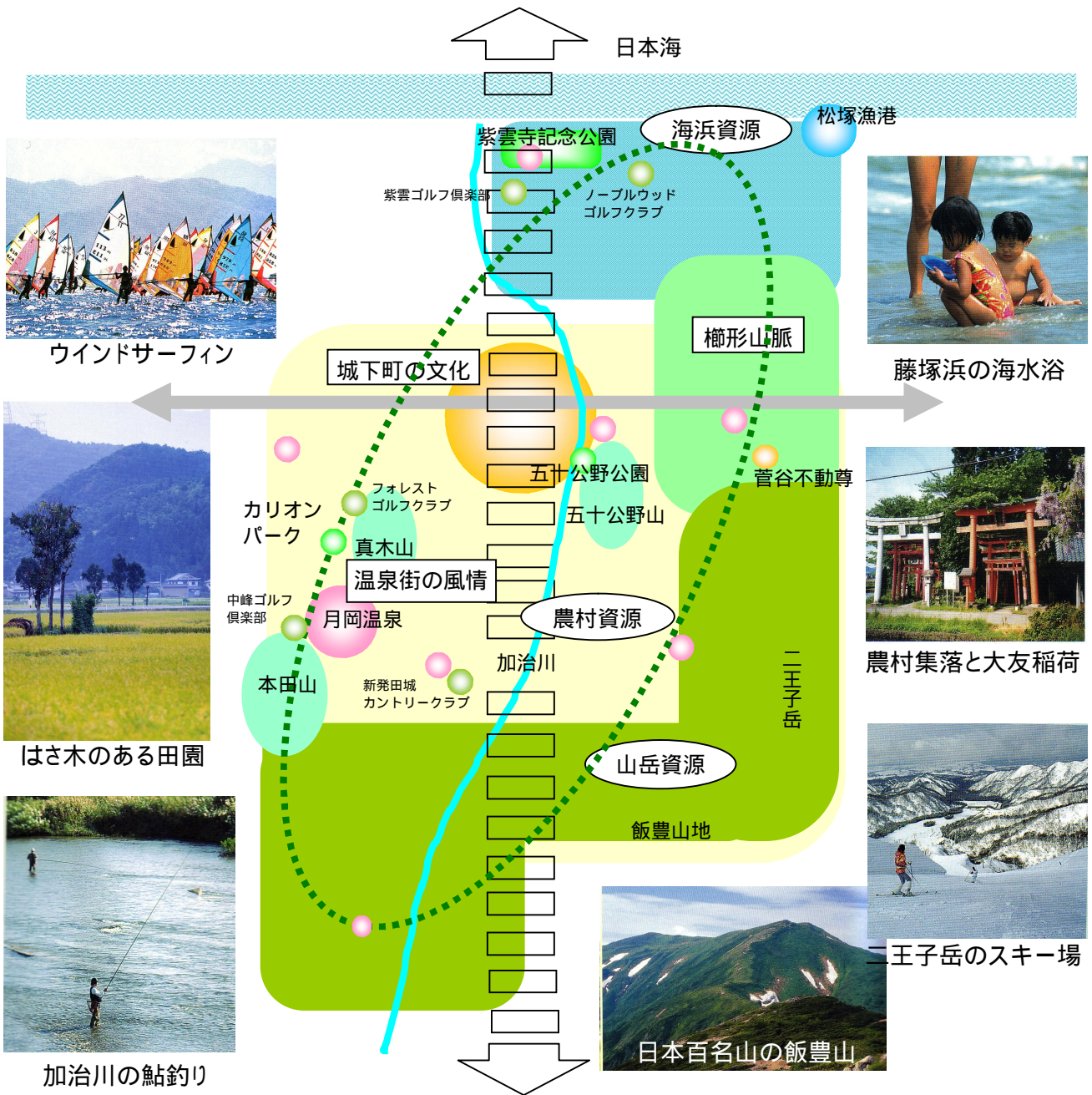
- ・歴史文化、暮らし、自然などを来訪者に説明・案内・指導できる人材の育成
- ・各地域の歴史、人物、植物、祭りや行事、食習慣、風習や民話などの伝承

*グリーンツーリズム...農村の自然・生活・文化を広く開放し都市との交流により地域振興を図っていく方策

*ブルーツーリズム...漁村の自然・生活・文化を広く開放し都市との交流により地域振興を図っていく方策

*フィルムツーリズム...映画やドラマなどの舞台となったロケ地、原作地をめぐる旅

観光資源どうしの連携



田植え・稲刈り風景 / 農業体験 / グリーンツーリズム

力強いしくみをつくる

みがく

市民の理解度の向上や意識改革、もてなしの気持ちの醸成

- ・市民向けの情報発信、観光まちづくり勉強会等の開催（シンポジウム、ワークショップ、モニターツアー、講演会、研究会等）
- ・広報活動、有効なガイドブックの作成・配布（市民、観光客、市外等）
- ・観光、景観美化への取り組みの推進（新発田川、ガーデニング特化地区等）

市民団体や観光関連団体等の連携や活動促進

- ・市民団体や観光関連団体の活動強化の推進（情報交流会、活動拠点整備等）

つなげる

市民等との連携

- ・観光ガイドボランティア制度継続のための支援
- ・ライセンス、資格制度の設立（新発田検定等の実施）
- ・公共交通機関、コンビニエンスストア、商店街等への観光情報の配信

観光関連組織間の連携

- ・月岡温泉宿泊者・来訪者への情報発信（月岡温泉観光協会との連携）
- ・市民団体や観光関連団体の参加による連絡協議会の創設
- ・組織間の連携と役割分担（推進体制の確立）

周辺市町村との連携（広域観光ネットワークの構築）

- ・新潟市との連携（上越新幹線活性化同盟会など各種組織の有効活用）
- ・会津街道、米沢街道を軸とする連携

旅行関係事業者との連携

- ・モニタリングやマーケティング活動の実施（ツアー開発・販売体制の確立）

事業者間の連携

- ・同業者または異業種業者間の活動組織の設立補助（「おかみ会」「職人会」等）
- ・職人技とアート作家等のコラボレーション
- ・共同事業の開催（イベント、売り出し、一店逸品運動など）

観光案内の充実

- ・観光案内板の設置や観光パンフレットの充実
- ・外国人向け多言語（韓国・中国・英語等）への対応（ガイド、パンフレット）

マスメディア等を活用した情報発信で観光客との連携を強化

- ・新聞、雑誌、ミニコミ誌、フリーペーパー、TVなどへの情報提供
- ・インターネットの観光案内サイトによる情報発信及び関係各所とのリンク
- ・携帯電話による観光案内サイトの構築

ほりおこす

地域C I（コミュニティ・アイデンティティ*）の充実と市民共有化

- ・ロゴ、マーク等の定着化と有効活用、市民によるイメージの共有化

人材発掘と地域リーダーの育成

- ・観光振興に向けて積極的に活動する人材の研修・育成制度の構築

しばたサポーターズクラブの構築

- ・新発田市の応援団、リピーターを「心の市民」として受け入れサポートするファンクラブの創設（城下町新発田会等の発展）
- ・特産品、農作物等を定期的またはニーズに応じて宅配するシステムの構築（ふるさと便の発展）

* コミュニティ・アイデンティティ...地域の理念や資質を明確にし、広く表明していく活動

実施体制と発信のしくみづくり

NPO団体の連携

- ・情報交流機会の設定
- ・サポート体制の強化
- ・役割分担

観光関連団体の活動促進

- ・団体間の連携体制づくり
- ・役割分担
- ・情報発信・PR方法

市民意識の醸成

- ・市民の地域への気づき
- ・もてなしの心の醸成
- ・市民による主体的取り組み



ワークショップ



おもてなし

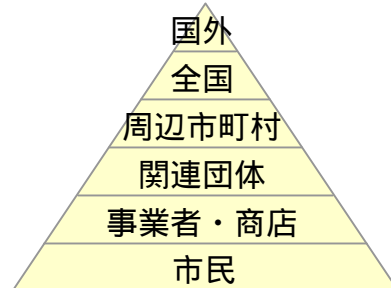


住民とのふれあい

推進体制の確立

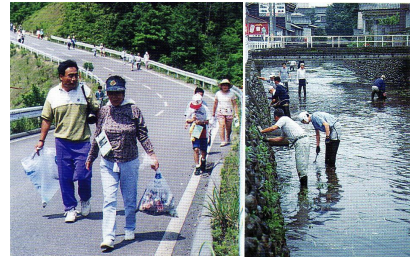
- ・組織間の連携、役割分担

各ステージでの理解度向上



広報・情報発信

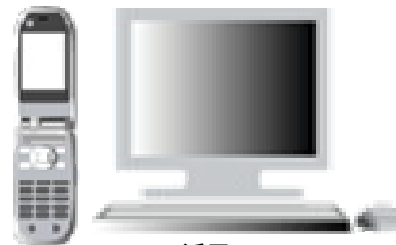
- ・月岡温泉との連携
- ・メディア対応
(TV、ラジオ、新聞、専門誌等)
- ・インターネット、携帯電話等対応



クリーン作戦



情報拠点施設



ITの活用



ふるさと便

地域ブランド化

- ・地域CIの確立
- ・地域活動リーダーの育成
- ・新発田ファンクラブの構築



まちづくりにおける“しばた”の地域ブランド化の促進